

2026年度 募集説明会 【全体説明】



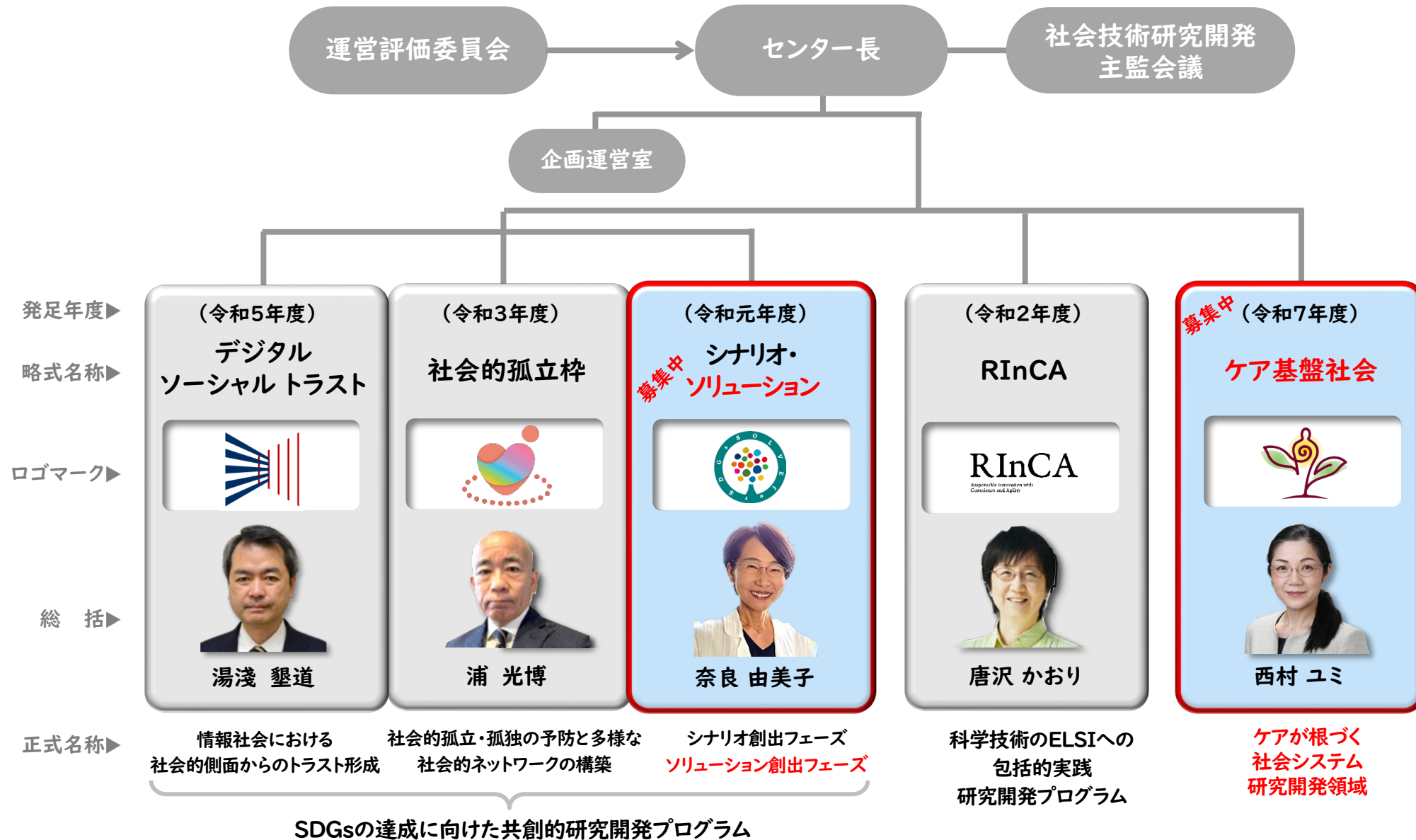
科学技術振興機構

RISTEX

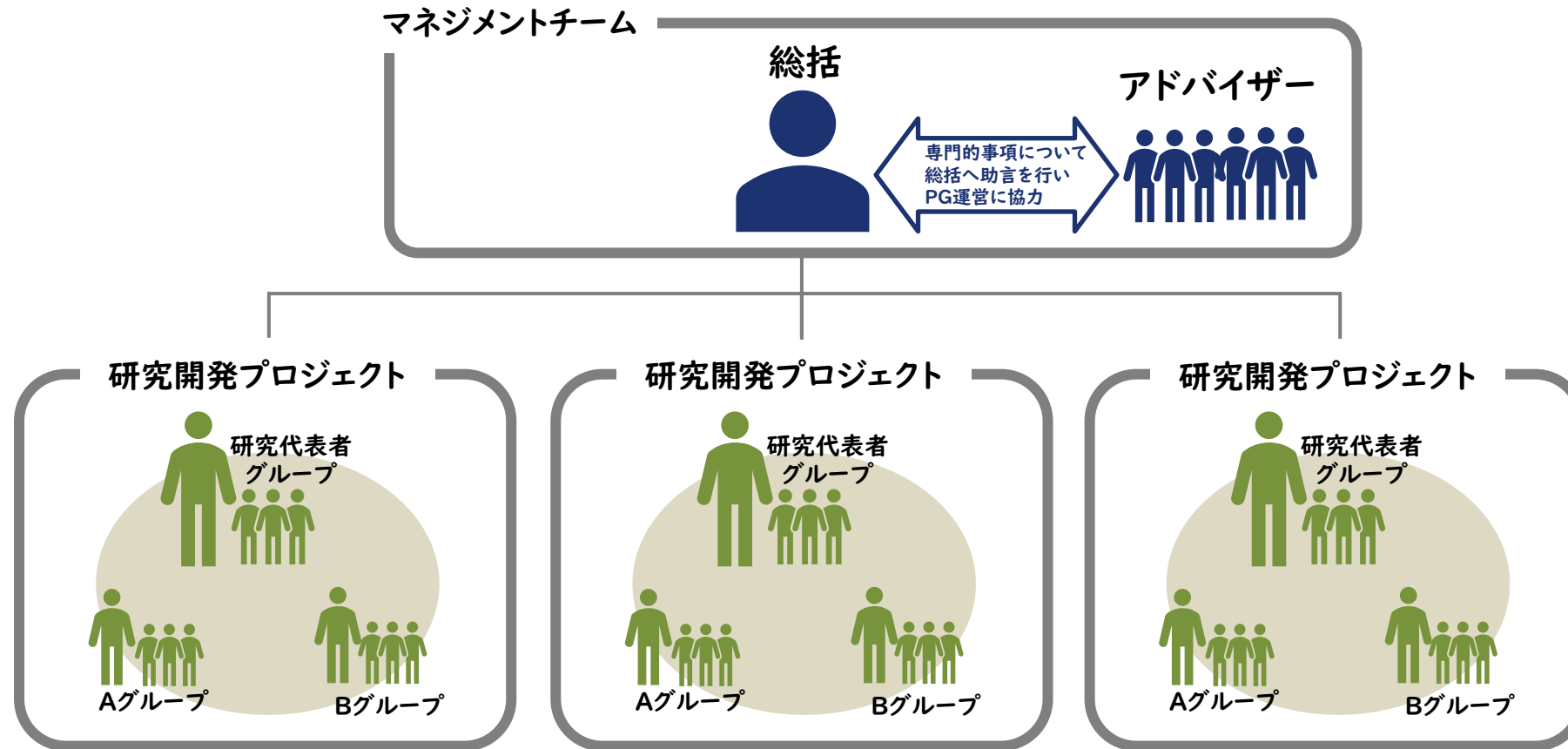


社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society

1. 社会技術研究開発センターについて (2026年度)



2. 領域・プログラム推進体制について



【研究開発プロジェクトの体制】

大学等、企業等、各種団体、NPO、行政など、研究者のみならず問題解決に取り組む関係者の協働チーム

プログラムの目標達成に向けて、総括のマネジメントのもと研究開発を推進

- 領域・プログラム目標に照らして、研究開発プロジェクトの募集・選考、評価、マネジメントを実施。
ー領域・プログラム会議、サイトビジット(現地視察)、全体会議(研究開発実施者を含む合宿)など
- 各年度および必要に応じて適宜、総括の判断により研究開発プロジェクトの計画変更や統廃合等も行う。
- 領域・プログラムとして必要な活動(アウトリーチ活動やネットワークの構築など)も積極的に実施。



3. 委託研究について

	委託事業	補助事業
概要	本来、国等 (JST) が行うべき事業について、 国等が自ら実施するよりも、大学・企業等他の主体が実施した方がより大きな効果が得られると思われる場合に、 契約により他の主体に実施を委ねる	本来、大学・企業等が実施している事業について、 一定の公共性が認められる場合に、 申請に基づき国等がその経費の一部を負担するもの。 補助金の交付を受けた側が主体的に事業を実施
配分方法	委託契約	交付決定
配分先	機関	個人・グループ・機関等 (制度により様々)
競争的研究費例	社会技術研究開発事業 戦略的創造研究推進事業 等	科学研究費補助金 研究拠点形成費等補助金 厚生労働科学研究費補助金 等
備考	委託研究契約および事務処理説明書に基づき、受託業務を適正に実施する義務があり、委託者はその実施状況を確認します。	—

※ 公募要領<共通事項> (第3章 3.4委託研究契約)

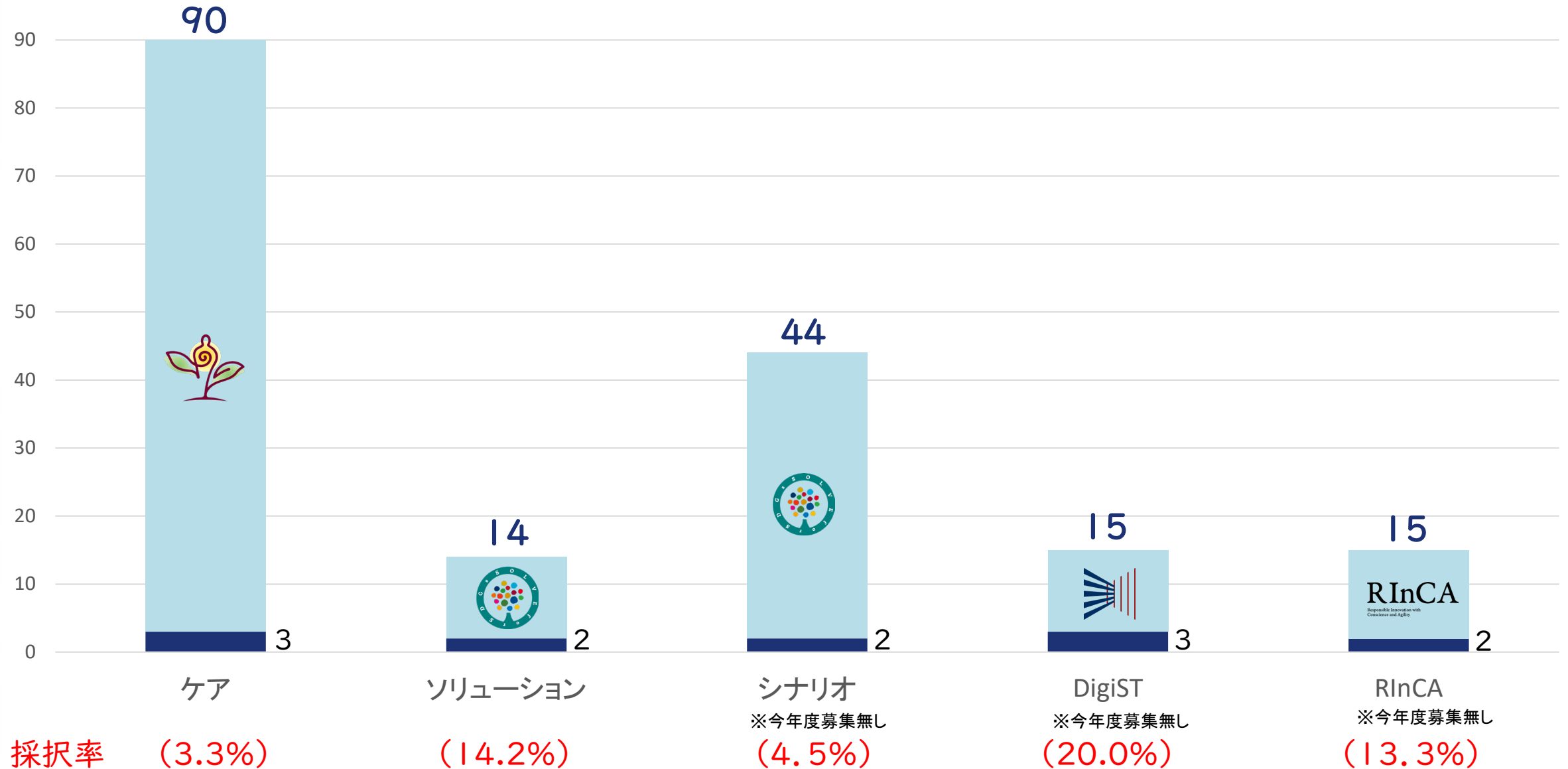
4. 2026年度公募領域・プログラム (概要)

➤ 公募期間 : 2026年4月8日 (水) ~ 6月3日 (水) 正午 【詳細は公募要領<共通事項>をご確認下さい】

領域・プログラム名称	キーワード	支援概要 (直接経費)	総括
 ケアが根づく 社会システム	共に在る社会に向けた ケア基盤の構築と 実証	【研究開発】 2,300万円程度/年 × 4.5年程度 (3件程度)	西村 ユミ 東京都立大学 健康福祉学部 教授
 SOLVE for SDGs ソリューション創出フェーズ	技術シーズ活用による 地域課題解決	【研究開発】 1,900万円程度/年 × 3年程度 (2件程度)	奈良 由美子 放送大学 教養学部 教授

<参考>2025年度公募 応募・採択状況

■ 応募数
■ 採択数



5. 重複応募について

【詳細は公募要領<共通事項>をご確認下さい】

- 1人の方が**研究代表者**として応募できる提案は、**1件のみ**です。
(※同一プログラム内で複数のフェーズや枠が設定されている場合も、いずれか1件のみとなります)
- 本年度公募の**2領域・プログラムに重複**して応募できません。
- 現在社会技術研究開発(RISTEX)の研究代表者**は応募できません。
(※当該研究開発の実施期間が2026年度内に終了する場合を除く)。

6. 利益相反について①

【詳細は公募要領<共通事項>をご確認下さい】

① 選考に関わる者に係る利益相反マネジメント

提案者に関して、下記に示す**利害関係者は選考に加わりません。**

<利害関係者>

- a. 提案者と**親族関係**にある者。
- b. 提案者と大学等の研究機関において**同一の学科、専攻等**に所属している者
又は被評価者等が所属している大学等若しくは大学等を経営する法人の**役員**
その他経営に関与していると思われる者及び当該法人を**代表して対外的に活動する者。**
- c. 提案者と**同一の企業**に所属している者又は被評価者が所属している企業の親会社等に
あたる企業に所属している者。
- d. 提案者と**緊密な共同研究**を行う者。
- e. 提案者と**密接な師弟関係**あるいは**直接的な雇用関係**にある者。
- f. 提案者のプロジェクトと**直接的な競争関係**にある者
又は市場において競争関係にある企業に所属している者。
- g. その他 JST が利害関係者と判断した者。

6. 利益相反について②

【詳細は公募要領<共通事項>をご確認下さい】

②研究代表者に関わる者に係る利益相反マネジメント

研究代表者と「**研究代表者に関係する機関**」との間の利益相反について、当該関係の**必要性、合理性、妥当性等**を考慮して適切に判断します。

<研究代表者に関係する機関>

- a. 研究代表者等の**研究開発成果を基に設立**した機関。
(直接的には経営に関与せず技術顧問等の肩書きを有するのみの場合、株式を保有しているのみの場合を含む。)
- b. 研究代表者等が**役員** (CTO を含み、技術顧問を含まない) に**就任**している機関。
- c. 研究代表者が**株式を保有**している機関。
- d. 研究代表者が**実施料収入**を得ている機関。

※**a及びb**については研究代表者のみではなく、研究代表者の**配偶者及び一親等内の親族**についても同様に取り扱います

7. e-Rad (府省共通研究開発管理システム) について

【詳細は公募要領<共通事項>をご確認ください】

応募はe-Radを通じて行っていただきます。

募集締切間際は混雑するため、**時間的余裕を十分とって、応募を完了**してください。

募集締切時刻以降の**提案の取下げ処理はできません**。

募集締切までに**応募手続きが完了していない提案**については、**いかなる理由があっても審査の対象とはいたしません**。

7. e-Rad (府省共通研究開発管理システム) について

【詳細は公募要領<共通事項>をご確認ください】

JSTは、募集締切時刻までに発生する提案書の不備についての一切の責任を負いません。
従って、募集締切時刻までに、**JST は提案者に事前確認の上での提案書の訂正**
もしくは**提案者に対する訂正依頼行為の一切を行わない**ことにつき、予めご承知おきください。

今年度より、**研究代表者だけでなく、主たる実施者（委託研究契約を締結する共同研究機関を代表する研究者）全員**について、事前にe-Radへの研究機関及び所属研究者の登録、研究インテグリティに係る情報の登録が必須となりました。

研究期間の登録申請は、研究機関で1名、e-Radに関する事務代表者を決めていただき、登録申請を行う必要がございます。**登録まで日数を要する場合がありますので、2週間以上の余裕をもって手続き**をしてください。

7. 研究インテグリティに係る情報の登録

【詳細は公募要領<共通事項>をご確認ください】

応募前に、e-Rad への研究インテグリティに係る情報の登録をお願いいたします。

※「**研究者情報の修正**」画面からの対応!

e-Rad外の研究費の状況および役職と所属機関への届け出状況

(1) e-Rad外の研究費

契約の種類	相手機関(相手機関の国名) 制度名 (研究期間)	研究課題名	円	ト(%)	約締結有無	削除
選択してください	選択してください (年 月 ~ 年 月)		円		無	<input checked="" type="radio"/> 削除しない <input type="radio"/> 削除(入力ミス) <input type="radio"/> 削除(契約終了)

行の追加

(2) (兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む) 現在の全ての所属機関・役職

兼業、外国の人材登用プログラムへの参加、あるいは雇用契約のない名誉教授等	相手機関の所在地	削除
	選択してください	<input checked="" type="radio"/> 削除しない <input type="radio"/> 削除(入力ミス) <input type="radio"/> 削除(契約終了)

行の追加

(3) 誓約状況

寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき所属機関に適切に報告しているか。

報告している

「(1) e-Rad外の研究費」
「(2) 兼業、外国の人材登用プログラムへの参加、
あるいは雇用契約のない名誉教授等」
について入力。

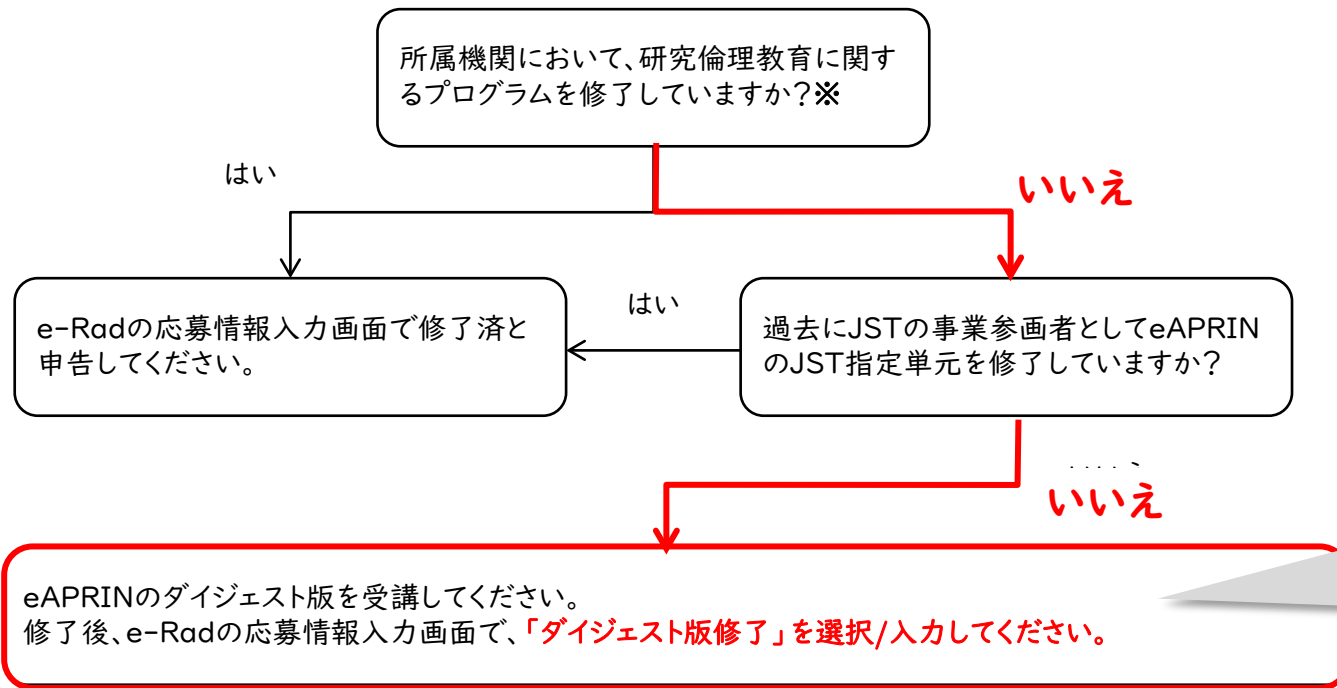
「(3) 誓約状況」のチェックボックスをチェック。

チェックマークが入っていないと応募ができません

8. 研究倫理教育に関するプログラムについて

【詳細は公募要領<共通事項>をご確認下さい】

研究代表者は、研究開発上の不正行為（捏造、改ざん、盗用および経理不正）を未然に防止するために**研究倫理教育に関するプログラムを修了**している事が応募要件となります。



<eAPRINのダイジェスト版>

- 所要時間はおおむね**1~2時間**程度
- **費用負担は不要**
- **e-Rad** の応募情報入力画面で、修了を**選択/入力**してください。

※研究代表者以外については、申請時の受講・修了は必須としません。

採択後は、原則として全ての研究開発実施者が研究倫理教育に関するプログラム又は教材の履修を必須とします。

9. お問い合わせ窓口

お問い合わせは**電子メール**でお願いします。

※本資料はHP掲載予定です。

■社会技術研究開発の**応募全般**に関するお問い合わせ

国立研究開発法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 企画運営室 募集担当

✉ boshu@jst.go.jp

■**各領域・プログラムへの応募**に関するお問い合わせ

ケア基盤社会

✉ boshu-care@jst.go.jp

SOLVE:ソリューション

✉ boshusolve@jst.go.jp

■**最新情報**はRISTEX 2026年度 提案募集Webサイトに掲載しますので、必ずご確認ください

🏠 https://www.jst.go.jp/ristex/proposal/proposal_2026.html